

2017年12月13日

報道関係各位

公益財団法人 笹川スポーツ財団

1952年ヘルシンキオリンピック 100m、走り幅跳びに出場 1964年東京オリンピックの「コンパニオン」 星野 綾子 氏 スペシャルインタビュー 公開

「スポーツ・フォー・エブリワン」を推進する、笹川スポーツ財団（所在地：東京都港区 理事長：渡邊一利 以下：SSF）では、スポーツの価値や意義を検証し、あるべきスポーツの未来について考える機会として、日本のスポーツの歴史を築かれた方々へのインタビュー記事「スポーツ歴史の検証」（<http://www.ssf.or.jp/history/tabid/811/Default.aspx>）を連載しています。

今回ご登場いただくのは、日本が戦後初めて参加した1952年ヘルシンキオリンピックに陸上選手として出場した星野綾子さんです。星野さんはヘルシンキ大会の12年後、大会出場経験を買われ、1964年東京オリンピックのメイン会場・国立競技場でVIPを案内・接待する「コンパニオン」に選ばれました。ヘルシンキ大会出場までの選手生活、コンパニオンとして心がけた当時のおもてなしの様子や、3年後の2020年東京大会に期待することなどを伺いました。

笹川スポーツ財団 スペシャルサイト『スポーツ歴史の検証』 第66回 間近で見た「オリンピック・ムーヴメント」 星野 綾子 氏

スポーツ歴史の検証 で検索ください！

【URL】 <http://www.ssf.or.jp/ssf/tabid/813/pdid/262/Default.aspx>

【主な内容】日本戦後初のオリンピックに出場／衝撃を受けた世界の成長スピード／ヘルシンキ後に襲った突然の「燃え尽き症候群」／東京オリンピックで始まった「コンパニオン」／笑顔と誠意を心がけた「おもてなし」／スター選手の登場に期待したい2020年



1952年ヘルシンキオリンピックでは走り幅跳びと100mに出場

星野 綾子（ほしの あやこ）氏（旧姓・吉川）

元陸上選手。1951年アジア大会（ニューデリー）の4×100mリレーで金メダル、走り幅跳びで銀メダルを獲得。1952年ヘルシンキオリンピックに出場した。1954年からは母校・芦屋女子高校教員と産経新聞記者の二足のわらじで活躍。ヘルシンキ大会出場経験を買われ、1964年東京オリンピックでコンパニオンを務めた。

インタビューアー 佐塚 元章（さづか もとあき）氏

NHKの元チーフアナウンサーで、現在はラジオアナウンサーなどを務める。1992年バルセロナオリンピックの開会式、岩崎恭子の最年少金メダル獲得（水泳）などの実況をはじめ、スポーツ実況を25年間担当した。

<スポーツ歴史の検証>概要

【企画制作】公益財団法人笹川スポーツ財団

【後援】スポーツ庁、東京都、公益財団法人日本体育協会、公益財団法人日本オリンピック委員会ほか

【特別協力】株式会社アシックス

この件に関するお問合せ先
笹川スポーツ財団 経営企画グループ：古坂（ふるさか）
TEL：03-5545-3301 info@ssf.or.jp